

(様式第8号)

長野県みらい基金 信州の特色ある学びを实践する事業・団体助成プログラム
助成対象事業実績報告書

2024年4月30日

公益財団法人

長野県みらい基金 理事長 様

申請者 所在地 長野県北安曇郡白馬村神城27425-125

団体名 一般財団法人白馬インターナショナルスクール

代表者 職・氏名 代表理事 草本 朋子

※押印は不要です

「長野県みらいベース」において当団体が掲載した「信州の特色ある学びを实践する事業・団体助成プログラム」について、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業名

持続可能性について学ぶ

「白馬インターナショナルスクールの校舎を断熱し薪ストーブで暖めたい」

2 助成対象事業の実施期間

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

3 助成対象事業の内容

スクールの暖房を環境負荷の高い石油ストーブに頼っていたが、より環境に配慮した暖房器具で、教室を快適に学べる温度に保つことを目的とした事業。薪ストーブを検討したが、暖房効率を考えるとペレットストーブが望ましいという結論に達し、ペレットストーブに変更し、大教室にペレットストーブを設置した。また、ペレットストーブ導入に先立ち、暖房の熱が逃げないように、教室の断熱改修を行った。具体的には、内窓をつけ、窓を二重にすることにより、教室の断熱性能を上げ、より少ない燃料で効率的な暖房を可能にした。2階大教室に設置したペレットストーブの暖房が届かない3階の大教室には、石油ストーブ使用をやめるべく、大型のエアコンを設置した。

4 事業の成果

前年度は、2階の大教室では、いわゆるブルーヒーターと呼ばれる業務用大型石油ストーブ2台をフル回転してメインの教室を温めていたが、ペレットストーブ導入後はペレットストーブのみでほぼ暖房を賄うことができた(もっとも寒い時期に、朝のみ補足的にブルーヒーターを使用する日が数日あった)。また、3階の教室はエアコンによる暖房で充分となり、石油ストーブは全く使用せずに冬を越すことができた。結果的に、灯油の使用量は前年の半分以下となっている。生徒数が1.5倍に増加し、教室の使用量が増える中で、灯油の使用を半分以下に抑えられたことは、今回のペレットストーブ導入および断熱改修の成果だと考える。

5 助成対象事業の実施状況を示す書類(添付)

(1) 助成対象事業収支計算書

(2) 事業の経過又は成果を証する書類

助成対象事業収支計算書

※下記報告書の裏付けとして、領収書のコピーを添付してください

区 分			金額(円)	内 訳
収 入	① 本助成金		2,233,498	
	② 自己資金 会費、事業収入、 寄付金など		12052	自己負担額
	③ その他 補助金等			
	収入合計		2,245,550	(A)
支 出	助成対象経費	修繕費	521,950	断熱改修工事費(内窓設置)
		設備費	865,000	ペレットストーブ設置工事費
		修繕費	30,000	パネルヒーター撤去費用
		修繕費	578,600	エアコン設置工事費(エアコンは寄贈)
		人件費	250,000	時給二千円 x 月平均25時間(2023年4月、5月、10月、11月、12月)
		計	2,245,550	(B)
	助成対象外経費			
計		0	(C)	
	支出合計	2,245,550	(B) + (C) = (A)	

事業の経過又は成果を証する書類

※写真を以下の枠内に2～4枚添付してください。

※写真以外の成果物(チラシ・リーフレット等)がある場合には、別途送付してください。



使用したペレットストーブ 山本製作所の大型モデル、「日陽」



日陽

(ひなた)

Hinata [PS-1311F]

窓から差し込む日の光のように空間を暖めたい。
そんな思いから「日陽 (ひなた)」と名付けまし
た。最大暖房能力50畳の大型ペレットストーブ。

高気密住宅対応

暖房能力：最大50畳*